

薬剤師と介護支援専門員連携サミット

9月14日(水)19:00~21:00 北上済生会病院の大会議室において連携サミットが開催されました。薬剤師32名、介護支援専門員27名が集まり「現場ではこんなこと困っています。こんな解決方法があります。よい連携についてもっと創造・妄想してみよう」とグループワークし連絡・相談の連携が出来、問題を解決するための活発な意見が出されました。終了後もなかなか席を立たず「次はいつになりますか?」と聞いていく方もおり大盛況でした。



現場で困っている介護支援専門員と、薬局で困っている薬剤師が会える機会はお薬の問題でこんなに困っていた事実を知ること、連携して情報交換すれば回避できる問題もあると確信しました。

商店街相談所 **ふらっと**がスタートしました



認知症地域推進委員の方々と北上市長寿介護課の方です。

前列右から
藤原照江さん
平野裕子さん
後列右から
皆川礼一郎さん
石山美貴さん
近藤淳子さん
三浦晴美さん
高橋望さん

10月19日より、毎月第3水曜日13:30~15:30、まちなか学校(本通り商店街)にて、認知症の方やご家族の方、認知症に関心のある方の相談、交流の場として『商店街相談所 **ふらっと**』がスタートしました。「最近忘れっぽくなった。」「家族の様子が以前と変わってきた。」「情報交換できる場所がほしい。」など、困っている方・悩んでいる方に対して、専門の相談員がじっくりとお話を聴き対応します。介護保険認定申請が必要な方には、代行申請も対応します。初回の相談は、電話相談が1件、来所が1件ありました。物忘れや認知症の心配事がある方からご相談を受けましたら、「商店街相談所**ふらっと**に立ち寄ってみては。」と、ぜひご紹介ください。

主催：認知症地域支援推進員

お問合せ：北上市役所長寿介護課包括支援係

北上在宅ケアネットワーク研修会



10月22日、プランニュー北上においてめぐみ在宅クリニック院長小澤竹俊先生をお迎えし「援助的コミュニケーションの基本～実践編～」講演会が開催されました。人生の最終段階にある人やその家族と関わることを苦手と感じる人は少なくありません。日に日に食事が少なくなりやがて寝付いていく人とのように関わってよいかわからない援助者が、自信をもって支援に当たれるようになることを目的に「援助的コミュニケーションを学び実践できる」「反復と沈黙、問いかけ」をロールプレイ(役割演技)で学びました。「相手の苦しみをキャッチする。」「相手の支えをキャッチする。」「どんな私たちがあれば相手の支えを強めることができるのか知り実践する。」「支えようとする自らの支えを知る。」ということ学びました。

主催：北上在宅ケアネットワーク(事務局ホームケアクリニックえん)

共催：北上市在宅医療介護連携支援センター

北上市支えあいの地域づくり

セミナーが開催されました



10月28日、さくらホールにて、「安心して自分らしく年齢を重ねるためのきっかけづくり。役割と生きがいを生み出す福祉の地域づくり」をテーマに、北上市支えあいの地域づくりセミナーが開催されました。(主催：北上市、地域包括支援センターいいとよ・北上中央・展勝地・わっこ)

展示と体験体感ブースコーナーでは、◎物忘れテスト◎介護用品展示◎ミニ認知症カフェ ◎がんばらない介護生活チェック◎終活のすすめ◎いきいき百歳体操、のコーナーが設置され、スタンプラリー形式で多くのみなさんが参加、体験をしました。支えあいの地域づくり講演会では、NPO 法人あすの黒岩を築く会・NPO 法人くちない・おたすけライフさらき、からの事例発表に続き、NPO 法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長池田昌弘氏による、「たすけられ上手、たすけ上手な地域の育て方」と題した講演が行われました。総勢 300 名と多くの方が参加、市民の皆さんの関心の高さがうかがわれるセミナーとなりました。

黒沢尻5・6区 認知症徘徊模擬訓練

10月30日、黒沢尻第六区公民館にて、北上市長寿介護課・地域包括支援センター北上中央・敬和会が中心となって、黒沢尻5区・6区の皆さんの協力をいただき、認知症の理解(サポーター養成講座)と路上で徘徊高齢者への声かけ訓練を実施しました。

実施内容 ◎認知症サポーター養成講座(終了後オレンジリング支給)

◎徘徊者への声掛け訓練(声掛けの留意点を実演)

◎徘徊者への声掛け模擬訓練(路上で実施)

30名のみなさんが参加し認知症の方の見守りの仕方について学びました。

認知症を理解し、徘徊高齢者の早期発見と対応方法を身につけることを目的としたこの取り組みも平成26年からスタートし3回目を迎えました。認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに繋がる取り組みとなりました。



北上市内 POS 療法士合同勉強会が開催

11月11日、日高見中央クリニックリハビリ室にて、北上市内 POS (PT・OT・ST) 療法士を対象とした勉強会が開催されました。介護保険サービスを中心に、他職種や利用者ご本人からの話を聞き、POS 療法士として地域ニーズを感じ、あるべき POS 療法士像について考えることを目的とした勉強会となりました。全体の進行、まとめ役を介護老人保健施設きぼう苑理学療法士佐藤美和さん、ファシリテーターをいわてリハビリテーションセンター諸橋勇氏が務めました。

1. 話題提供

- ①「介護予防の機能強化とリハ専門職への期待」
- ②「保健師の取り組み～百歳いきいき体操」
- ③「ケアマネジャーが POS に期待すること」
- ④「利用者の立場から」

北上市保健福祉部長寿介護課課長 石川晴基氏
北上市保健福祉部長寿介護課包括支援係 石山美貴氏
北上市ケアマネジャー連絡協議会会長 高橋恒信氏
日高見中央クリニック利用者 佐々木氏、ご家族 北條氏

2. グループワーク

全体として、医療介護サービスにおける POS 療法士の求められる役割は変化してきており、従前の患者、利用者個人へのリハビリサービスだけではなく、家族や介護保険サービス事業者を含む支援者に対して、生活のコーディネーターとしての役割が期待されていること、評価や判断をできるのが専門職であり、「指示」ではなく「支持」的対応が必要であることなどが話されました。グループワークでは、「地域から望まれる療法士とは?」「地域への支援に参加する場合に障害(バリア)となるものは?」「明日から始めること」をテーマに活発な意見が交わされました。



在宅医療推進のためのスキルアップ研修会が開催されました

11月18日、プランニュー北上にて、医療法人葵会もりおか往診クリニック岩井正勝先生、在宅医療連携拠点事業所チームもりおか板垣園子所長を講師にむかえ、「在宅医療先進地の取り組みから学ぶ」と題した講演が行われました。今年度は医師会員のみならず、歯科医師会員、薬剤師会員とそのスタッフの方々に向け、医歯薬連携の観点も盛り込んだ研修会となりました。盛岡市の見取りの状況、もりおか往診クリニックにおける、スキルアップのための在宅医療実践（急性期病院との連携や夜間対応の工夫、医師の連携など）、地域連携の難しさ（多職種・他事業所間での情報共有、医療と介護の間の言葉が違ふ、治療やケアの目標が見えにくい）、チームもりおかの取り組み状況についてお話がされました。また、施設職員・介護職員のみなさんのサポートが重要であり、施設での看取りの重要性についてお話がされました。「これからの高齢者医療にあるものは、特別に感動的な話ではなく、普通の高齢者が歳をとり、病気や障害をもって生き、普通に終末期を迎えること。」「住み慣れた場所で最期まで過ごせることが最善かはわかりませんが、意思決定支援で大切なことは、結果としてたどり着いた状況が、もっともよい結論であると支持すること。」「どういう結論であっても間違いではないと思います。と後押しすること。」医療介護の連携に取り組んでいくうえで、大切なことは何かを考える機会を与えてもらえる非常に示唆に富んだ研修会となりました。

在宅医療介護連携支援センターからご報告

◎ 相談受付状況 ◇10月相談案件数 5件 ◇11月相談案件数 7件

相談方法	○電話 4件 ○来所 1件	○電話 9件 ○訪問 3件
相談者	○病院 1件 ○居宅介護支援事業所 1件 ○市長寿介護課 1件 ○暮らしの自立支援センターきたかみ 2件	○地域包括支援センター1件 ○居宅介護支援事業所 2件 ○暮らしの自立支援センターきたかみ 3件 ○市長寿介護課 4件 ○ケアマネ協会 1件 ○一般市民 1件
相談内容	○病気や治療、診察等に関すること 3件 ○研修会等に関すること 1件 ○医療費支払いに関すること 1件 ○入院時保証人に関すること 1件	○病気や治療、診察等に関すること 7件 ○医療費、生活費に関すること 3件 ○研修会等に関すること 2件

※相談方法と相談者件数は延べ件数。

医療と介護の連携を支援することを目的として、スタートした在宅医療介護連携支援センターですが、「何をしているのかな？どんなことをしているのかな？」と思っている方も多いと思います。学びたいこと、やりたい企画がありましたら、センターへご相談ください。

市民の医療と介護の質の向上につながる場合、開催周知の協力、共同開催等の支援を行うこともできます。

《編集後記》

「自分たちはこんな良い取り組みをしているのに、意外と知られていない！」ということはありませんか？そんな時はセンターが取材に伺いますので、ぜひ情報をお寄せください。
師走となり慌ただしい日々を過ごしていると思います。
皆さまご自愛ください。(K) (R)

“きたかみ在宅医療介護連携支援だより”の
ネーミングを募集しております！

《発行》 在宅医療介護連携支援センター（北上済生会病院 管理棟2階）

〒024-8506 北上市花園町一丁目6番8号

TEL 0197-88-3011 FAX 0197-88-3012

